

第8回 西新宿地区再整備検討委員会の主な意見

第8回 西新宿地区再整備検討委員会の主な意見

■開催日時

令和5年10月20日（金） 10:00～12:00

○都庁周辺の空間再編に関する在り方検討委員会に関する主なコメント

- 検討体制について、部会間の連携も図られているものと感じた。（伊藤委員）
- 都民広場に人工芝を置いた結果どれほど気温が低下したかなど、気温低減に寄与できるかを意識するべき。（渡邊委員）
- 日本の首都として、国際的な観点で、ユニバーサルでない、暑い空間に来街者を招くことが恥ずかしいことを理解してほしい。公開空地の段差の解消などバリアフリーを実現してほしい。（渡邊委員）
- パスポートセンター前のカフェや飲食店などは、環境に配慮した先進的な質のいい店舗を入れるべき。（渡邊委員）
- 首都の庁舎の足元まで観光バスが入ってくる国はあまりなく、日本だけである。12号街路で観光バス利用者を乗降させ、まちを眺めながら都庁へアクセスしてもらおうという考え方があっても良いのではないか。（渡邊委員）
- 第二庁舎と第一庁舎をつなぐ道路においては、バス停位置をずらしてでも、横断歩道の幅員を広げるべきと考える。また、11号街路下が暗いため、明るくするためにも1庁と2庁の繋がりは重要になってくる。（岸井会長）
- 各街路のイメージが示されているが、これでは街区側の状況が分からず、どのようにしていくのか検討するベースとして、これではいけないと考える。まずは、都庁街区と道路との関係性がわかる図面で示してもらえると理解が広がるのではないか。（岸井会長）
- 建物の内と外がともにリニューアルされることで、企業同士の接点を増やしていくといったことも再整備方針の趣旨であるため、都庁が先導して示されていくと良い。（岸井会長）